

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 学園の理念として、「生きる力を家族とともに育てる療育～ちいさないっぱい」を掲げ、基本方針として「関係法令を遵守し、適正な療育支援サービスの提供」「親子療育を通して発達上つまづきを持つ乳幼児とその保護者の育ちを援助」「実践を研究し、人間性豊かな職員の育成」「障害幼児の早期支援システムの充実のため、関係機関との連携」を明文化し、事業計画・重要事項説明書等に記載している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 理念や基本方針を記載した学園運営概要やマニュアル等を年度当初に配付し、研修や各会議の機会を捉えて読み合わせを行い、職員への周知を促している。小規模の園であり、理念、基本方針、療育目標が普段の療育場面において常に共有され、実践に活かされている。 療育目標を記載した「学園生活のしおり」を保護者に配付し、年度当初のオリエンテーションに説明を行うとともに玄関ホールや廊下等に掲示する等して周知を図っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	A・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 岐阜市総合計画、第2次岐阜市障害者計画第3期実施計画及び第3期岐阜市障害福祉計画、後期岐阜市次世代育成支援行動計画を受けて、福祉サービスの内容・組織体制・人材育成等の現状分析を行い、課題や問題点を明らかにした中長期的なビジョン構想があり、それに基づき、経営や福祉サービスの事業計画を策定している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法： 第2次岐阜市障害者計画第3期実施計画及び第3期岐阜市障害福祉計画、後期岐阜市次世代育成支援行動計画に基づいた中長期ビジョン構想はあるが、現在、障がい乳幼児をとりまく制度の変動期にあり、計画として具体化できないところがある。今後とも福祉動向を睨んで学園の将来を見据えた中・長期計画策定に向けての取り組みに期待する。</p>		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 事業計画の中で事業内容を具体的に明示され、定期的に指導部会で検討して見直しを行い、年内に次年度に向けての評価・課題の明確化を図っている。事業計画の達成のため、職員間で役割を分担し、計画を実施し、その達成度の評価を行っている。 職員には学園概要、職員マニュアルを配付し、保護者には学園生活のしおりを配付し、年度初めに説明する等して周知に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行う	A・B・C

ている。		
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>管理者としての役割と責任については、業務ごとの事務分掌を規定し、「学園運営概要」に明記するとともに、職員に配付し、職員会議等で説明している。また年度初めの広報紙「けいこう」に園長が抱負や心構えを掲載している。また、目標管理制度において果たすべき役割と責任についてその妥当性を検証する仕組みがある。</p> <p>障害福祉サービス事業者としての法令遵守責任者の届け出をし、適正実施に努めている。また、法令遵守に関する研修に参加し、職員に周知を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I－3－（2） 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I－3－（2）－① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
	I－3－（2）－② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は管理者の役割と責任について機会あるごとに職員・保護者に説明している。年度初めには事業計画の中に各担当役割を記載し、リーダーとして指導力を発揮している。法令についても関係研修に参加し、伝達講習を行い、職員への周知を図っている。</p> <p>経営や業務の効率化と改善に向けた取組については、予算執行について指導部門・管理部門のチェックを行う等コスト意識を持ち、経費節減に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－1 経営状況の把握

Ⅱ－1－（1） 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ－1－（1）－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅱ－1－（1）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・B・C

II-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>岐阜県と東海地区の知的障害者支援協会の役員であり、国の施策動向や障害者福祉制度の情報は迅速に収集できる立場にある。地域の福祉ニーズはスクリーニング機関（保健センター、発達相談センター、医療機関等）との連携で把握する仕組みがある。また、入園前相談や保護者アンケート、親の会等からの意見の汲み上げによりニーズを把握している。経営状況については、毎月の出席統計集計を確認し、施設利用状況を把握して分析するとともに、毎年度の決算から収支を分析し、課題改善を図っている。市として外部監査制度が設けられ、監査を毎年受審しており、指導や指摘事項に基づき、経営の改善に向けた取り組みを行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

II-2 人材の確保・養成

II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・B・C
II-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園に人事の裁量権はないが、施設として求められる専門性のある者や有資格者の配置を要望している。具体的には、社会福祉士を一定割合とするよう、また相談支援専門員、児童発達支援管理責任者、保育士の割合等も要請している。</p> <p>人事考課は岐阜市人事考課制度に基づき、目標管理制度を導入した人事考課が実施されている。人事考課研修が実施されており、考課基準についても明示されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は職員行動表や勤務諸表により職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを定期的にチェックし、結果を分析・検討している。また、目標管理制度における園長との定期的な面談を通して職員が自由に意見表明できる体制ができている。</p> <p>厚生福利事業は市の規程に拠り、適切に実施されている。</p>	

改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>学園運営概要に職員研修に関する姿勢が明確にされており、専門的支援ができるよう、社会福祉士等の有資格者の確保をめざしている。</p> <p>新任職員のための研修、各種研修への計画的派遣、外部講師による研修会の開催、療育機関での実地研修を行っている。また、市の倫理、接遇、人権、情報セキュリティの研修を必須とし、実務法令研修等を年間を通して実施している。</p> <p>受講後に復命研修を行い、各研修内容を評価・分析し、今後の研修計画の見直しにつなげている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>実習生について積極的に受け入れていく姿勢を示し、多くの実習生を受け入れている。職員用マニュアルに基本姿勢や手順が明示されている。実習担当者を２名配置し、事前オリエンテーションを行っている。その中で、施設概要や実習心得等の説明を行い、養成校と連携して用意した実習プログラムに基づき受け入れている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
----------------------------------	---------

II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-②	災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・B・C
II-3-(1)-③	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種場面別の緊急時対応マニュアルが整備され、職員に配付されている。また、火災および地震の避難訓練、不審者防犯訓練を実施するとともに救急法（AEDの使い方等）の研修を受講している。感染症について予防意識を高めるための研修を行い、ノロウイルス対策として嘔吐時の対应用具を各階に常備し訓練している。</p> <p>「災害対応マニュアル」を策定し、地震を含めた災害時の避難訓練を実施している。例えば、子どもたちが災害時に適切な行動ができるよう、毎月頭巾を用いて訓練を共に行っている。また、ヒヤリハット事例が起きた際は指導部会を随時開催し、検討すると共に文書にして回覧、改善・周知を図り、再発防止に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

II-4 地域との交流と連携

II-4-(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・B・C
II-4-(1)-③	ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入・卒園式には地域の代表者に案内・出席依頼をし、「親子ふれあいデー」には近隣地域自治会へ案内を出している。散歩では必ず挨拶をするよう心がける等隣人とのコミュニケーションづくりに努め、関係構築に取り組んでいる。</p> <p>療育教室、保育所等訪問支援、障害児相談支援等、地域へ向けた事業を展開している。</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、窓口担当を決め、事前説明、オリエンテーションを行い、受け入れをしている。ボランティアは中学生の福祉体験学習と一般の療育ボランティア、製作・清掃等のボランティア等がある。</p>		

改善できる点／改善方法：	
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市障害者総合支援協議会専門部会、児童発達支援センター四者協議会、就学指導委員会等の会議に参加し、保健センター、子ども相談センター、教育委員会、希望ヶ丘学園、児童発達支援事業所連絡会、子ども若者支援センター等関係機関と連携を密にしている。また、その他の社会資源についても資料を収集してリスト化している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域の福祉ニーズの把握は岐阜市障害者総合支援協議会専門部会、児童発達支援センター四者協議会、就学指導委員会等に参加し、保健センター、子ども相談センター、教育委員会、希望ヶ丘学園、児童発達支援事業所連絡会、子ども若者支援センター等と連携して情報収集し、ニーズの把握に努めている。</p> <p>ニーズに応じて療育教室、保育所等訪問支援、相談支援等の事業を実施している。なかでも保育所等訪問支援はニーズが高く事業拡大に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を		Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	もつための取組を行っている。	
Ⅲ－１－（１）－②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者を尊重した親子療育の基本姿勢について学園運営概要や学園生活のしおりや重要事項説明書に明記されている。また、人権への配慮に関しては詳細な「子どもたちの指導の充実のために」（恵光学園職員用マニュアル）が作成され、職員の言葉かけ、具体的な場面での対応、プライバシー保護等について記載されている。倫理、人権、接遇、個人情報保護について研修を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（２）	利用者満足の上昇に努めている。	
Ⅲ－１－（２）－①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アンケート調査、個別懇談、家庭訪問、定期的な支援計画のモニタリング等を通じて意向を把握する等満足度調査を行っている。様々な意見をいただき、常に満足していただけるサービスの質になっているか、内容を理解していただいているかを念頭に置きながら検討して改善に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－１－（３）	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ－１－（３）－①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－１－（３）－③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>親子で職員と共に療育に取り組んでいく施設であるので専門的な相談も多く、相談内容によっては複数の相談方法や相談相手が必要な場合もあるので、クラスの複数担任制を採っており、相談担当を設置し、相談室でいつでも相談に応じられるよう体制を整備している。また、苦情についても苦情受付担当者、解決責任者を明らかにし、苦情解決の流れについて掲示して周知している。保護者には重要事項説明書、契約書、学園のしおりに苦情解決の窓口を記載して配付しており、園内に苦情受付箱も設置している。意見も多く出されており、指導部会、指導委員会で協議して迅速に対応している。</p>		

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>福祉サービス第三者評価を定期的を受審している。第三者評価の結果に基づき、取り組むべき課題を明確にし、組織として共有し、課題の改善策を検討し、実施している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>一定水準以上のサービスを提供するために標準的な実施方法を文書にまとめ、職員全員に配付し、研修を行い、質の均一化を図っている。</p> <p>学園運営概要、学園職員用支援マニュアル（学園の療育をすすめるために）、個別支援計画・様式等については毎年、見直しを行い、検討箇所があれば随時追加・改訂され、年度初めには改定したものを職員に配付している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	われている。	
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本的な生活習慣、運動・遊び、人との関わり等園児の課題に応じて個別の療育プログラムに、個々のサービス実施計画と実施状況が記載されている。また保護者との連絡ノートとして使用している「療育ノート」には日々の経過記録が記載されている。</p> <p>記録の管理については、文書管理システムと文書ファイリングシステムにより厳重に管理されている。</p> <p>園児の状況に関する情報は月１回の指導委員会、週１回の指導部会を開催して全職員に周知している。また日々の療育場面で観察した園児の情報を職員間で迅速に伝えあって確認している。情報共有については、毎朝の打ち合わせをはじめ、日常的に確認、報告などを行っている。また、会議では指導部会、指導委員会、フロア会議、ケース会議など様々な機会をとらえ、情報共有に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１）	サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページによる情報発信やパンフレットを市の関係機関に配布している。早期発見早期療育システムに基づき、発達相談センター及び療育機関から入園紹介されることが大半となっており、見学相談、登録を通じて、にこにこ教室、クラス外来に来園している。</p> <p>サービス利用にあたっては、サービス利用計画を立案し、それを踏まえて重要事項説明書、利用契約書を説明し、保護者の同意を得て契約締結している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２）	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	

	Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保護者の依頼と同意を得て、個別支援計画による引継ぎを行い、アフターケアを実施するとともに、必要な子どもには、並行通園制度、保育所等訪問支援制度の利用を促し、また障害児支援利用計画を作成し、切れ目ない支援に努めている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	第三者評価結果	
	Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 利用計画相談で作成されるマスタープランに沿い、統一したアセスメントシートにより障がい、発達、生活等についてアセスメントを行い、それに基づき、療育ニーズを把握し、個別支援計画の中で課題を明示している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・B・C
	Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： サービス実施計画の策定については、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保護者の意向を踏まえて、児童発達支援管理責任者、各担任を中心に職員会議で話し合い、個別支援計画を作成している。個別支援計画は、職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (障害分野)

A-1 利用者の尊重

1 - (1) 利用者の尊重		第三者評価結果
A-1-(1)-①	コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-②	利用者の主体的な活動を尊重していますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>1歳児は1年間、また1歳以上児は日数を決めて親子通園を実施している。利用児の大半が対人・社会面での障がいを抱えており、子どもの現状及び課題を把握するためにコミュニケーションを重視した働きかけに心がけ、信頼関係を築きながら支援を進めている。また個別支援計画に基づき、療育活動を通してコミュニケーション能力の育成に努めている。</p> <p>保護者による親の会は、毎月の総会と役員会があり、フリートーキング、学習会等保護者が率先して活動が行われている。親子療育を基本とし、保護者会の活動を支援している。</p>		
改善できる点/改善方法：		
A-1-(1)-③	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-④	利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがありますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>職員の配置基準を3対1とし、一人ひとりの子どもに対する支援と安全を確保している。また個別支援計画は保護者の意向を踏まえて作成し、同意を得ている。また個別懇談で一緒に見直し、検討している。</p> <p>買い物や外食、公共の場へと親子に職員が同行(ペアレントトレーニング)し、場所や場面が変わっても子どもと共に行動できるよう、保護者に寄り添い、助言や指導を行っている。例えば電車の乗車体験を年5～6回実施することで自信を持って外出できるように支援している。また学園が活用できる社会資源について、利用できる情報をできるだけ知らせている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

A-2 日常生活支援

2- (1) 食事		第三者評価結果
A-2-(1)-①	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されていますか。	Ⓐ・B・C
A-1-(1)-②	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽し	Ⓐ・B・C

く食べられるように工夫されていますか。	
A-1-(1)-③ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮していますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市の保育所と同一の献立を基本に外部委託による給食調理員が調理を行っている。アレルギー食やミキサー食、刻み食等、子どもの障がい特性、喫食傾向や状況に合わせた食事が提供されている。</p> <p>管理栄養士、職員、調理員、園長による給食委員会により献立、食材の検討を行うほか、地産地消や旬の野菜を取り入れ、安心安全な食材を使用する等して給食の充実に努めている。親子で給食を共にする機会を設け、子どもの食事を見たり、味見をしたりする等喫食状況を把握することができる。</p> <p>食事時間は一人ひとりの障がい特性に応じて様々に時間設定している。無理のないプログラムを立て、嫌いな物でもひと口から進め、時間をかけて個別に指導している。発達に応じてスプーンやフォーク、箸に進めるよう支援している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

2- (2) 入浴	第三者評価結果
A-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮していますか。	A・B・C
A-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われていますか。	A・B・C
A-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切ですか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>児童通園施設のため非該当項目である。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
2- (3) 排泄	第三者評価結果
A-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われていますか。	Ⓐ・B・C
A-2-(3)-② トイレは清潔で快適ですか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>排泄マニュアルに基づき、排泄チェック表により利用児一人ひとりの排泄リズムを把握し、トイレ誘導を行っている。成功体験を経験してもらい、排泄自立に向けた支援に取り組んでいる。また、家庭における排泄に関し、助言・指導を行っている。トイレ内にはヒーター設置の他、高さの違う椅子が用意されていて、下着の着脱がスムーズにできるよう配慮されている。</p> <p>トイレは外部委託業者による清掃に加えて、職員のチェックや消毒もされており、臭いもなく、清潔が保たれている。入口には扉が設置され、外からの視線を遮り、プライバシーにも配慮されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

2- (4) 衣服		第三者評価結果
A-2-(4)-①	利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援していますか。	A・B・C
A-2-(4)-②	衣服の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切ですか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： A-2-(4)-①については、児童通園施設のため非該当項目である。 利用児それぞれに着替え用衣服を入れるロッカーが用意され、必要に応じて取り出せるようにしている。清潔感の育成のため、個別支援計画に沿って、子ども一人ひとりに応じた支援を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
2- (5) 理容・美容		第三者評価結果
A-2-(5)-①	利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援していますか。	A・B・C
A-2-(5)-②	理髪店や美容院の理容について配慮していますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。</p>		
改善できる点／改善方法：		

2 - (6) 睡眠		第三者評価結果
A-2-(6)-①	安眠できるように配慮していますか。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。</p>		
改善できる点／改善方法：		
2 - (7) 健康管理		第三者評価結果
A-2-(7)-①	日常の健康管理は適切ですか。	Ⓐ・B・C
A-2-(7)-②	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられますか。	Ⓐ・B・C
A-2-(7)-③	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われていますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 嘱託医による年2回の健康診断の他、かかりつけ医の助言指導、学園の保健管理計画や職員マニュアルに沿って健康管理がされている。日常の薬の管理はマニュアルに沿って受け入れている。毎日の健康状態は療育ノートに丁寧に記録され、保護者に伝えている。 近隣の各種医療機関と協定書を交わし、緊急医療体制が整備されている。 内服、外用薬については、学園生活のしおりや指導マニュアルに基づき、薬の預りや与薬を行っている。薬は保護者から直接預かり、職員がダブルチェックをする等して確実な投薬を行っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

2－（8） 余暇・レクリエーション	第三者評価結果
A-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われていますか。	A・B・C
良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。	
改善できる点／改善方法：	

2－（9） 外出、外泊	第三者評価結果
A-2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われていますか。	A・B・C
A-2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されていますか。	A・B・C
良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。	
改善できる点／改善方法：	

2－（10） 所持金・預かり金の管理等	第三者評価結果
A-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られていますか。	A・B・C
A-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できますか。	A・B・C
A-2-(10)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	A・B・C
良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。	
改善できる点／改善方法：	

岐阜県独自項目

(1) 職員の援助技術の向上		第三者評価結果
①	職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の援助技術の向上に取り組んでいますか。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 学園内での学習会の他、年間研修計画を策定し、全職員に対し、各種研修の実施や復命研修を行って、援助技術の習得や向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
(2) IT技術や知識の修得		第三者評価結果
①	利用者の社会生活に必要となるIT技術や知識の修得に向けた支援をしている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 児童通園施設のため非該当項目である。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		